

シリーズ豊前市 SDGs とは？

“誰一人取り残さない持続可能な社会”を実現する世界共通目標である SDGs。全部で 17 個ある SDGs の目標を、地域の視点を取り入れ、そして一人一人ができる取組事例を取り入れて、毎月 1 つずつご紹介していく 2022 年 1 月から開始した連載です。地域の未来のために、私たちと私たちの大切な人が持続可能であるために。豊前で始める最初の第一歩。毎月 SDGs を一緒に学びながら、**自分にできることを一緒に始めていきましょう。**

目標 16 「平和と公正を全てのの人に」

～みんなが安心して参加できる平和な社会をつくる
公正な法律に基づいた暮らしをみんなができる～

SDGs 目標 16 が目指す社会は、暴力や虐待の無い誰にとっても平和で公正な社会です。世界では今この瞬間もどこかで紛争や暴力の影響を受けている人がいます。紛争や迫害によってこれまで暮らしていた場所を追い出された人は 1 億人以上もいて、紛争の影響を受けている国や地域で暮らす子どもたちは約 4 億 2,600 万人もいる（出所：世界の子もたちを取り巻く最新ファクト「日本ユニセフ、2021 年 4 月」）とされています。たくさんの人が争いごとや暴力、迫害で命をうばわれたり、家族を失ったりするなど、つらく悲しい思いをしています。紛争はその地域に住んでいる人たちに恐怖や苦しみを与えるだけではありません。食料やエネルギー、資源の不足をもたらし、紛争のある地域から遠く離れたところで暮らす私たちの生活にも甚大な影響をもたらします。世界で起こっている紛争には国際社会が協力して解決のための様々な行動を起こしたり、破壊された町の復興、難民や被害者の支援をおこなったりしています。紛争や暴力は女性や子ども、少数民族など、社会的に弱い立場の人を特に苦しめるもので、絶対に無くしていかなければなりません。



豊前市の取組 | 「子ども家庭総合支援拠点」

子どもの健やかな成長を
サポートする取組み

日本は紛争もなく平和に思えますが、「人種、性別、子ども、高齢者、移民、難民、LGBTQ+、障がい者、同和問題（部落差別）、ホームレス、出所者」などの要因で差別が発生するなどの課題があります。誰かが不当な扱いを受けたり、受けられるはずのサービスを受けられなかったりする事態を防がなければなりません。豊前市では、子ども家庭総合支援拠点を設置しています。身近なところにいる子どもたちが困っている？虐待かも？暴力を振るわれているかも？と気づいた時は、いちはやく次の問合せ先へご連絡ください。一人一人が意識することで、地域全体で子どもたちやそのご家庭を守ることができます。この他、子どもたちや、ご家族の皆様も、困ったとき、話したいとき、ちょっと聞いてみたいときは、お気軽にご利用ください。

- ① 児童相談所虐待対応ダイヤル 189（通話無料で近隣の児童相談所へ繋がります）、
- ② 京築児童相談所 0979-84-0407、③ 豊前市子ども家庭総合支援拠点 0979-82-8245

お問合せは 豊前市福祉課 こども相談係 ☎82-8245

SDGs の主人公はわたしたち

身近なところにある SDGs

一人一人ができる取組事例

目標 16 「平和と公正を全てのの人に」は「あらゆる争いごとをなくし、みんなが安心して参加できる平和な社会をつくる」ことを目指す重要な目標です。今回ご紹介する取組以外にも、個人でできる取組はたくさんあります。

まずは新聞や公共施設など周囲に目を向け、身近に自分ができる取組みが紹介されていないか、そしてヒントが隠れていないか探し、できることから始めましょう。

<わたしたちにもできること>

- ① どんなことが世界で今起きているのか？国際的な紛争問題などに興味を持つこと
- ② 関連するイベントや募金などに参加してみる
- ③ 学校や会社、家族、友人。コミュニティにいる人たち。そういったところにいる一人一人に価値観の違いを否定するのではなく、多様性をお互いに受け入れあうこと

株式会社ニコン日総プライム 水谷洋司(英国 CMI 認定サステナビリティ(CSR)プラクティショナー)

